

MÜLLER(ミュラー)工房

ドイツ東部チェコとの国境近くにあるエルツ山地の村・ザイフェンは14世紀の頃から錫(スズ)を採掘する鉱山の村でした。17世紀になると採掘量の減少や安価な錫の輸入などで生活が苦しくなってきた坑夫たちが、今まで家の中で片手間にやっていた木工芸品作りを主な仕事にするようになり、家族でクリスマス用の装飾品やおもちゃ作りをするようになっていきました。

ミュラー工房は、1899年にエドモンド・オズワルド・ミュラー氏の家内工房として誕生しました。彼はザイフェン特有のマッチ箱に入るミニチュアの人形から、当時の流行に合わせたおもちゃの家具セットまで様々な種類のおもちゃを作りました。その後、四代目リンゴ・ミュラー氏に至るまでオルゴール、くすみ割り人形、クリスマスピラミッドなど様々な伝統工芸品を生み出してきました。ミュラー工房の作品は「おもちゃの村」として知られるザイフェンの歴史とともに育まれてきた、素晴らしい工芸品ばかりです。

KLEINKUNST
AUS DEM ERZGEBIRGE
MÜLLER GmbH
www.mueller.com



ザイフェンのミュラー工房



ミュラー工房四代目 リンゴ・ミュラー氏 (左)

■くすみ割り人形

税金を厳しく取り立てる役人や王様に、殻付きクルミをかませて痛い思いをさせたい、という民衆の切実な思いを木工職人が人形にしたと言われています。昔から実用的な道具ではなく、クリスマス時期に部屋に飾って楽しむ装飾品として作られています。



14296 H23cm
くすみ割り人形 王様
¥ 27,500 (税込)



14206 H23cm
くすみ割り人形 兵士
¥ 27,500 (税込)

■天使と坑夫

鉱山が主要産業だった頃、鉱山の中の暗闇と危険は非常に大きな問題でした。そこで光を灯す人形が作りだされました。坑夫たちに安全な道を示し、幸運を運んでくれるように願ったのです。天使の人形は天の加護の象徴、坑夫の人形は、日々命を賭して働いている人々の姿を表しています。



24204 H26cm
天使と坑夫 (大)
¥ 60,500 (税込)



24100 H14cm
天使と坑夫
¥ 20,680 (税込)